



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年 4月 18日

企業・団体名 JR貨物 富山貨物駅・富山営業所

代表者名 富山営業所長 竹内 康就

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和4年12月27日（宣言日）～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">安全を前提とした安定輸送サービスを提供します持続的・継続的な物流サービスを提供し、物流寸断による社会的損失回避に貢献します <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none">「安全の価値観」をより一層浸透・定着させ、関係者と連携し、貨物鉄道全体の安全基盤を強化しています（偏積に関する事象防止のため、ハード対策(トラックスケール設置検討)・ソフト対策(関係者勉強会)の継続実施)物流寸断による社会的損失回避のため、災害等輸送障害時の対応力強化をしています（貨物駅改良による代行拠点化のための整備、輸送モード複線化のため船舶共同保有）
2	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">幹線・中距離輸送を担う大量輸送機関として労働力不足に対応します鉄道を基軸とした総合物流サービスを展開しお客様に最適なソリューションを提供します <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none">キャリアとして輸送力を提供し、労働生産性の向上に取り組みました（貨物列車1編成(=1人の運転士)で10tトラック40台分の輸送力を提供）貨物駅への新技術導入により、労働生産性の向上に取り組みました …トラックドライバーアプリ(T-DAP)の全国運用開始(令和5年6月～)により 情報伝達の迅速化、荷役作業省力化とトラックドライバーの駅構内待機時間の削減
3	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">鉄道輸送の優れた環境特性を生かすとともに環境に配慮した事業運営を進め、2050年カーボンニュートラルをはじめとするグリーン社会の実現に貢献します <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none">貨物列車による輸送力を提供することで、環境に配慮したグリーン物流の根幹を支えました（営業用トラックと比較してCO2排出原単位が1/11、エネルギー消費量が1/8）エコレーンマーク事業へ協賛し、マーク取得へのサポートを行いました（令和5年度は新たに取組企業1社、認定商品1件、協賛企業3社が認定）

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。